

2019 年 9 月 14-16 日 裏銀座～読売新道

参加メンバー：L 久保

山行予定が急遽中止となってしまう、とはいえせっかくの 3 連休なので、前から歩いてみたいと思っていた読売新道へ東沢の偵察がてら行ってきた。

[1 日目]

秋の 3 連休ということもあり、初日七倉山荘前の駐車場は車と人で溢れかえっていた。家族に送り届けてもらい良かったと思うとともに、急いでタクシー待ちの列に並ぶ。七倉山荘→高瀬ダム区間は、一般車両は通行禁止。タクシーは 6:00 より運行開始、複数台が何往復もするので予約が無くともそれほど待たずに乗車出来た。

烏帽子小屋に続くブナ立尾根は 3 大急登の 1 つである。やや長い登りであるがそれほど急でもなく、非常に登り易い尾根だった。烏帽子小屋以降は稜線に出るため遮る物が何もない。兎に角、真夏のような暑さと日差しに日影が欲しかった。砂漠のような稜線を歩いていくと、突如鞍部に本日の宿泊地である野口五郎小屋が現れた。本日は定員 50 名の小屋にギュウギュウ詰めとなり、布団 1 枚に 2 人という体制で就寝。お隣さんが細見の方で助かった。

[2 日目]

奥黒部ヒュッテまで道のりが長いため、3 時に出発。特に難なく 6 時前には水晶小屋に着く事が出来、本日のスタート地点に立つ。雲ノ平や双六岳に向かう人がほとんどとなり、水晶岳以降は一機に登山者が減る。3 連休とは思えない静けさだった。赤牛岳は砂漠のような砂地に覆われた山になり、非常にキレイだが、遠く感じた。赤牛岳からは黒部ダムに向かい一気に下降。物凄く木の根が張り巡らされた樹林帯で、歩行スピードがなかなか上がらなかった。それでも、この日 1 番に奥黒ヒュッテに到着出来、テント場も選び放題、一番風呂もいただき(通常は宿泊者優先)、知らないオジサン達にウイスキーもご馳走になり、充実した日だった。広いテント場に最終的には、11 張り。アクセスが悪くだけあって静かだった。

[3 日目]

始発 6:20 の船に乗りたく、余裕を持って出発。悪路と噂される登山道は梯子の連続であるが、アッという間に着いてしまい船着き場で 1 時間以上待つ事に。船で対岸に渡ってからも、ロッジくろよんまではそれほど道が良いとは言えない上に、アップダウンがある。黙々と歩き、黒部ダムへ。10 時半のバスにすんなり乗れた。

※翌週、水晶小屋付近で熊の目撃情報あり。裏銀座周辺ではよく熊が出没するそう。行動中、周辺に人がいない時には熊鈴を鳴らすようにしていたが、早朝行動していたので、万が一の事を考えるとゾッとする。

[コースタイム]

1 日目：七倉山荘 (6:00 発) - タクシー乗車 - 高瀬ダム (6:30 発) - 烏帽子小屋 (10:00) - 野口五郎小屋 (13:35 着、小屋泊)

2 日目：野口五郎小屋 (3:00 発) - 水晶小屋 (5:45) - 水晶岳 (6:35) - 赤牛岳 (9:30) - 奥黒ヒュッテ (13:05 着、幕営)

3 日目：奥黒ヒュッテ (3:00 発) - 平ノ渡し船乗り場 (4:45 着、始発 6:10 発) - 乗船 - 対岸 (6:20 発) - ロッジくろよん (9:10) - 黒部ダム (9:35 着)